

報道関係者各位

2021年11月3日(水)
株式会社明電舎

特別顧問 稲村純三 旭日中綬章 受章のお知らせ

令和3年秋の叙勲において、株式会社明電舎（以下、明電舎）元取締役社長であり、現特別顧問である稲村純三は、日本の製造産業の発展に貢献したことを称えられ、旭日中綬章の受章が決定しました。

稲村は、1971年4月に明電舎に入社し、2008年6月、取締役社長に就任しました。

リーマンショックを契機とする世界同時不況の厳しい状況下、財務体質の立て直しとものづくり力の強化を目標に掲げ、水インフラ及び電鉄などの既存コア事業や海外関連事業の強化に努めたほか、半導体及び電気自動車分野に向けた量産型コンポーネント製品事業の展開を強力に推し進めるなど、経営基盤の確立に邁進しました。社長任期中に発生した東日本大震災では、陣頭指揮により災害復旧に大きく尽力しました。また、2013年には日本電機工業会会長に就任するなど、業界の発展にも尽力しました。



〔受章のコメント〕

この度は、はからずも栄誉ある章を授与され身に余る光栄と感謝しております。この受章はひとえに経済産業省、電機業界並びに明電グループの方々のご指導、ご支援の賜物であり心より感謝申し上げます。今後とも微力ではございますが、社会、電機業界の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

〔受章者の略歴〕

稲村 純三（いなむら じゅんぞう）

1948年4月2日生

1971年3月 慶應義塾大学 工学部電気学科 卒業

4月 株式会社明電舎入社

2007年6月 同社 取締役 兼 専務執行役員 産業システム事業本部長

2008年6月 同社 代表取締役 取締役社長

2013年6月 同社 代表取締役 取締役会長

2018年6月 同社 相談役

2019年6月 同社 特別顧問